

4/2

避難の村を守ります



▲整列し村長訓示を聞く隊員の皆さん

いちばん館前の駐車場で「いいたて全村見守り隊」の出動式が行われました。今年度見守り隊で活動する隊員は252人。主に各行政区に分かれてパトロールを実施し、避難中の村内の防犯に取り組みます。

この出動式には、村長ら村の関係者と、南相馬警察署・県警本部特別警ら隊・村消防団長も出席。それぞれが連携・協力して活動にあたることを申し合わせ、合同パトロールに出発しました。

デジタルカメラ 100台が寄贈されました

4/2

村内で工場の操業を続ける株式会社菊池製作所から、コンパクトデジタルカメラが村に寄贈されました。

寄贈のカメラはカシオ社製、ニコン社製、キャノン社製の3種類・合わせて100台で、いずれも菊池製作所が部品を製造・供給しているものです。箱に入った新品の状態届けられたカメラは村が保管し、子どもたちの研修等に貸し出し、活用する予定です。



▲村長にカメラを手渡す高橋幸一取締役

教育への思いを語り合って

4/4

今年度、村の小中学校に転入した教職員が、村の教育関係者と顔合わせをする「教職員合同披露式」が飯野出張所で行われました。

式の中では、村長・教育長らが、村の教育にかける思いやこれまでの取り組みを伝えました。また、続く教職員の自己紹介では、それぞれが出身や経歴と合わせて、意気込みを熱く語りました。



▲着任したばかりの先生が一堂に集まりました

「ふくしま再生の会」活動報告会

3/26

被災地の産業や生活の再建を目指すNPO法人「ふくしま再生の会」が、被災直後から村内で行ってきた放射線モニタリング・農地除染・作物栽培等の結果をまとめ、飯野出張所で報告会を開きました。これらの専門的な調査には、東京大学農学部をはじめ各地の大学や研究者が協力しています。代表者が活動のようすや各測定値の推移などを報告した他、来場した村民との対話も行いました。



▲報告を行う理事長の田尾陽一さん（左端）

3/28

やまゆり保育所の修了式



▲思い出の写真が貼られた修了証書を

やまゆり保育所の平成25年度修了式が、所内のホールで行われました。

修了児は、所長の中井田多美子先生から証書を、また在園児から花束や記念品を受け取ると、少しはにかんだ笑顔を見せました。その後はこの1年間のようすを写真のスライドショーで見たり、先生たちの出し物を楽しんだりして、保護者と一緒に名残惜しく、修了の1日を過ごしていました。

避難犬の里帰り

3/30

岐阜県のNPO法人「日本動物介護センター」が、村民から預かる愛犬を連れて、村役場本庁を訪れ、16匹が懐かしい村で飼い主家族と再会しました。飼い主家族は、雨模様のため庁舎の表玄関で到着を待ち、車両から愛犬が降りてくると、名前を呼んだり抱いたりして再会を喜び合いました。滞在できるのは数時間。その後は一緒に自宅へ戻るなどしてひとときを過ごしていました。

▶尾を振る愛犬に顔を寄せて

